

別表1 審査評点表

「様式3」に記述すること

運用機械企業・共同企業体	参加者実績	平成23年4月以降における参加要件(4)アに規定する運用機械(自動システム)の業務実績最大3件 1	1件 1点	3
			2件 2点	
			3件 3点	
	参加者実績	平成23年4月以降における参加要件(4)イの同種・類似業務実績最大3件(各最1点) 2	1件 0.3点	1
			2件 0.6点	
			3件 1点	
	共同企業体	地域における社会資本整備を支える企業の確保と維持管理の技術課題に対応する方策	企業が南相馬市に拠点がある 6点	6
			企業が福島県に拠点がある 3点	
			企業が近県に拠点がある 1点	
合計				10点
<p>1 運用機械における同種業務実績:平成23年4月1日以降に元請として履行が完了した、オートメ化された農業、農産物加工及び卸売市場施設の用途で延床面積が2,000㎡以上の新築(増築の場合は増築部分の延床面積が対象。)施設についての実施設計業務。</p> <p>2 運用機械における類似業務実績:平成23年4月1日以降に元請として履行が完了した、オートメ化された工場及び倉庫の用途で延床面積が2,000㎡以上の新築(増築の場合は増築部分の延床面積が対象。)施設についての実施設計業務。</p>				

「様式5」に記述すること

実施方針・実施手順(業務の理解度及び取組意欲)	5点
<p>評価の視点例</p> <p>(1)市の計画についての理解度 基本計画の趣旨を理解し、本市の実情に応じた実施方針となっているか。 業務の内容やこれまでの背景、経過、課題等、本プロジェクトについて十分理解しているか。</p> <p>(2)実施手順(業務フロー)の妥当性、スケジュール理解度、業務工程との整合 業務実施手順を示す業務フローは、業務を実施するうえで妥当か。 業務工程は現実的で、要点を押さえたものになっているか。</p> <p>(3)意欲・積極性 取り組み体制等も含め、意欲的で積極性のある提案となっているか。 適切なプレゼンテーションと質問に対する回答がなされているか。 本業務を遂行する上で、十分な能力および意欲・熱意を備えているか。</p>	
取組体制・人員配置・配慮事項(業務への取り組み体制、担当チームの特徴、特に配慮する事項等について)	5点
<p>評価の視点例</p> <p>(1)取組体制への評価 実施体制及び人員配置等、担当チームの体制(バックアップ体制を含む)は、業務遂行にあたり十分か。 発注者、受注者と情報共有ができる仕組みが提案されているか。 発注者を支援する姿勢や、供用開始後のフォローアップ体制などについて提案されているか。</p> <p>(2)人員配置への評価 管理技術者・窓口となる技術者等各担当者の役割・責任が具体的に示されているか。 マテハン機械配置やロボット設計等、十分な実績・経験がある技術者が担当者となっているか。</p> <p>(3)設計上特に配慮する事項の記載 課題解決方法や工夫が提案されているか。 的確性、独創性、実現性及び予算内コスト等を備えた提案となっているか。</p>	

「様式6」には課題の順番に沿って各課題番号につきA3 1枚以内で記述すること。なお、QRコードやURLなど紙面以外でのイメージ提示は禁止する。

<b>【課題1】</b> A棟(集出荷貯蔵施設)の運用機械具現案を示し、納入された園芸作物の品質や新鮮さを確保する創意工夫点や納入する農産物生産者と施設で働く方々への利点を提示する。	20点
<p>評価の視点例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集出荷貯蔵施設の共撰場の運用機器について、過不足なく検討・提言がなされているか。</li> <li>・農産物生産者にとって魅力的なシステムとなっているか。</li> <li>・施設で働く人たちにとって、安全で効率的で利便性のあるシステムとなっているか。</li> <li>・取り扱う園芸作物鮮度や品質を確保するシステムとなっているか。</li> <li>・維持費がかからないシステムとなっているか。</li> <li>・食品として、きちんと衛生管理がなされているか。</li> <li>・具現化できるシステムとなっているか。</li> <li>・機器を導入することによる経済効果をあげているか。</li> </ul>	
<b>【課題2】</b> B棟(農産物加工施設)の運用機械具現案を示し、加工する園芸作物の品質や新鮮や衛生を確保する創意工夫点や農産物生産者と加工業者及び消費者への利点を提示する。	20点
<p>評価の視点例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物加工施設の運用機器について、過不足なく検討・提言がなされているか。</li> <li>・納入する農産物生産者や卸売市場施設及び加工商品消費者にとって魅力的なシステムとなっているか。</li> <li>・加工場で働く人たちにとって、安全で効率的で利便性のあるシステムとなっているか。</li> <li>・取り扱う園芸作物の鮮度や品質を確保するシステムとなっているか。</li> <li>・維持費がかからないシステムとなっているか。</li> <li>・食品として、きちんと衛生管理がなされているか。</li> <li>・具現化できるシステムとなっているか。</li> <li>・機器を導入することによる経済効果をあげているか。</li> </ul>	
<b>【課題3】</b> C棟(卸売市場施設)の運用機械自動化システム(物流システム、マテハン機器、ロボット、選別(検査)機器、包装機器)の具現案を示し、納入する農産物生産者や施設関係者の負担軽減と利便性を確保する創意工夫と導入する利点を提示する。	30点
<p>評価の視点例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卸売市場施設の物流システム、マテハン機器、ロボット、選別(検査)機器、包装機器について、過不足なく検討・提言がなされているか。</li> <li>・農産物生産者や競りに参加する人たちや施設関係者にとって魅力的なシステムとなっているか。</li> <li>・施設関係者にとって、安全で効率的で利便性のあるシステムとなっているか。</li> <li>・取り扱う園芸作物の鮮度や品質を確保するシステムとなっているか。</li> <li>・維持費がかからないシステムとなっているか。</li> <li>・食品として、きちんと衛生管理がなされているか。</li> <li>・具現化できるシステムとなっているか。</li> <li>・機器やシステムを導入することによる経済効果をあげているか。</li> </ul>	
<b>【課題4】</b> 各案の持続可能性及びライフサイクルコスト低減の留意点と地域における社会資本整備を支える企業の確保と維持管理の技術課題に対応する方策	10点
<p>評価の視点例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネや創エネに配慮し、エネルギー消費量の低減につながる提案で、具体的な数値が示された検討がなされているか。</li> <li>・全ての利用者が利用しやすいよう、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した提案となっているか。</li> <li>・長寿命の機器となっているか、ライフサイクルコストに配慮し、バランスの取れた提案となっているか。</li> <li>・柔軟に対応可能なシステムとなっているか。進化する機能に対応した提案となっているか。メンテナンスのしやすさ、維持保全、将来の機器更新・増設への配慮があるか。</li> <li>・機器やシステム利用の初期教育やメンテナンスの対応を地場でおこなえる工夫はされているか。</li> <li>・その他、適切なセキュリティ対策や感染症対策が提案されているか、環境に配慮した提案が盛り込まれているか。</li> </ul>	
<b>【課題5】</b> その他として「南相馬市園芸作物集出荷団地」全体に対する提言等があれば記載すること。	加点10点
<p>評価の視点例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団地全体の視点に立っての提言となっているか。</li> <li>・「南相馬市及び相双地区の農業」という視野からの提案となっているか。</li> </ul>	